

# 安倍総理の口癖？「景気は緩やかに回復している」

2019年10～12月の「国内総生産速報」(内閣府)が2月17日に発表されましたが、**年率換算で6.3%の大幅下落**でした。これは消費税増税等によるものだと思いますが、予測を超えて厳しい景気減速を示しました。

同様に「景気動向指数」(内閣府)は多数の経済指標から機械的に得られた景気判断ですが、4か月連続で「**悪化**」を示しました。

しかし、3日後2月20日に関係閣僚会議が発表した「月例経済報告」では、**景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、「緩やかに回復している」と**しました。

政府の発表がなぜこんなにも違うのかと言えば、後者は「**関係閣僚の作文**」だからです。

## 「景気悪化」を認めないから、景気対策や構造改革が進まない

新型コロナウイルスでは、武漢での発生から3か月余、未だにPCR検査体制が全く不十分です。患者数を減らし、事態の矮小化を図ろうとしたからではないかと指摘されています。官僚は忖度したとしても、国会は数で押し切ったとしても、国民は納得しません。

私たちはリーダーに完全無欠を求めているわけではありません。**しっかりと検証し、失敗は失敗として認めてこそリーダーに対して信頼が生まれるのではないのでしょうか。だからこそ協力して頑張ろうという気持ちになるのだと思います。**



## アベノミクスを真摯に検証する暮らし・実体経済のための政策を

- ・アベノミクスに代わる経済政策の構築を！
- ・地域でお金が回る経済のしくみを作る！

## 一刻も早いコロナ対策をお手盛りでなく、困窮した現場に即した対応が必要だ

- ・雇用調整助成金の拡充を！
- ・失業者、生活困窮者等への生活支援を！
- ・小規模事業者・中小企業への緊急融資を！

## 安倍総理は景気判断の基準を変えた

安倍政権の「基調判断文」とそれ以前のモデルを使った文案との比較

2019	それ以前の文案	安倍政権の基調判断文
9月	景気は、このところ <b>弱い動き</b> となっている	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、 <b>緩やかに回復している</b>
10月	景気は、依然として厳しい状況にあるものの、このところ <b>上向きの動き</b> がみられる	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、 <b>緩やかに回復している</b>
11月	景気は、引き続き低迷状態が長引き、 <b>はなはだ厳しい状況</b> にある	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、 <b>緩やかに回復している</b>
12月	景気は、引き続き停滞し、 <b>一層厳しさを増している</b>	景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、 <b>緩やかに回復している</b>

(出典)内閣府のデータを基にみずほ証券金融調査部作成 (抜粋)

## 景気の基調判断は「悪化」に下方修正

—景気動向指数C | 一致指数とC | 先行指数—  
(2015年=100)



(出所)内閣府「景気動向指数」よりみずほ証券金融市場調査部作成

ホームページをぜひお訪ね下さい

- ・わが町、わが村、美しいふるさと
- ・おばあちゃんのための政治講座
- ・梶原やすひろの考え
- ・Youtube (政策提言)
- ・まんが国会
- ・その他



E-mail [seiji@kajiwarayasuhiro.jp](mailto:seiji@kajiwarayasuhiro.jp)

URL <http://www.kajiwarayasuhiro.jp>

本部事務所 丹波篠山市西岡屋甲 570-2

TEL079-552-7107 FAX079-554-1700